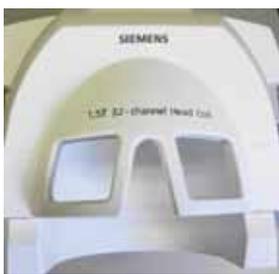




MRI装置が新しくなりました

当院では、MRI装置のアップグレード(技術改良)を行い、最新のソフトウェアとマルチチャンネルコイルを搭載しました。患者様、近隣医療機関様には約1ヶ月間ご不自由をお掛け致しました。アップグレードにより、短時間検査・高画質検査が可能で、撮影可能な範囲も広くなりました。

従来の装置は呼吸や体の動きに弱いという欠点がありましたが、アップグレードにより動きの影響をかなり軽減させることが可能になりました。



●頭部専用多チャンネルコイルを導入しました

今回、頭部専用32chコイルを導入いたしました。1.5TのMRI装置としては県内で初の導入になります。

頭部領域において高時間分解能撮影および高空間分解能撮影が可能となり、精細な画像を提供する事が出来るようになりました。

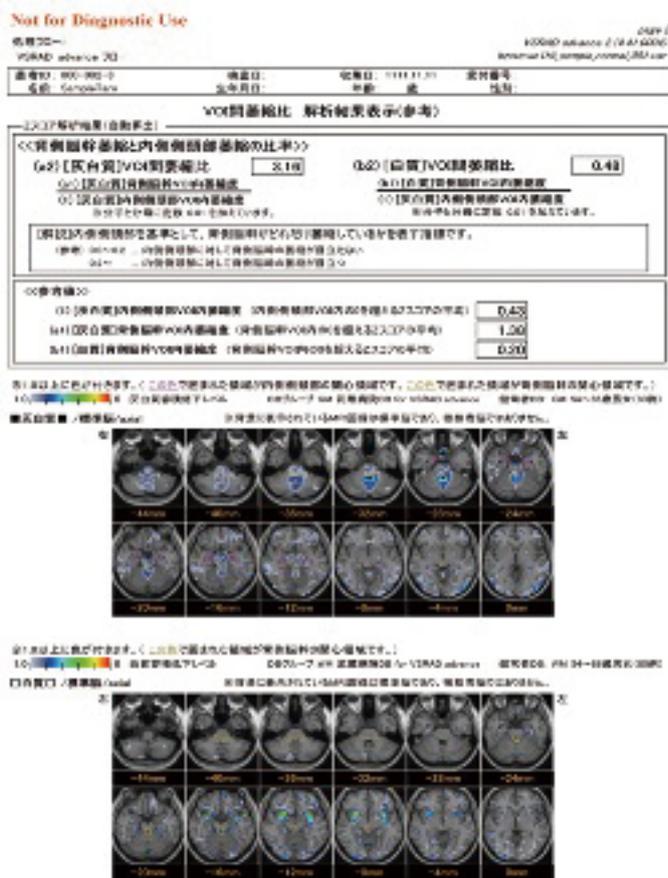
[次ページへ→](#)

目 次

MRI装置が新しくなりました……表紙	今後の行事予定 ……………5
重心病棟イベント 病院deあかり展…3	季節の健康レシピ ……………6
専門外来のお知らせ 「腎代替療法選択外来」…4	難病支援センターより講演会のお知らせ…7 難病相談・支援センター活動報告
病院各科紹介「神経内科」 ……………5	外来担当医表 ……………8

→前ページより

●早期AD診断支援システムも更新しました



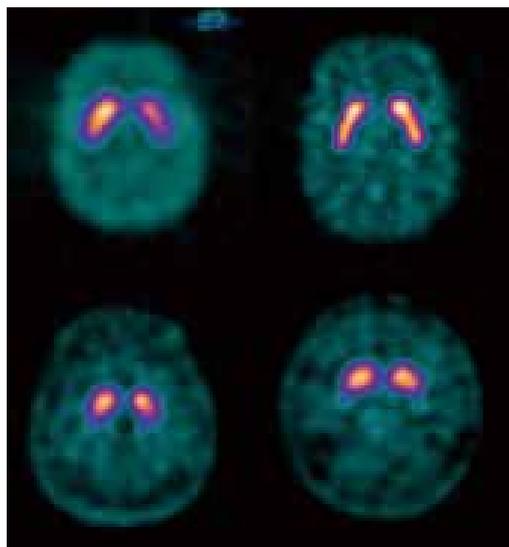
MRI装置のアップグレードにあわせて、VSRAD(早期アルツハイマー型認知症診断支援システム)をadvance2に更新いたしました。advance2では、アルツハイマー型認知症(AD)の他にレビー小体型認知症(DLB)の鑑別診断を支援する参考指標を追加しています。VSRADの評価によりADやDLBの疑いが生じた場合、当院では更なる検査として、アイソトープ検査(脳血流シンチ・交感神経シンチ・ドパミントランスポーターシンチ)を行うことがあります。

●アイソトープ検査との併用でより正確な診断へ

アイソトープ検査を行うことによって、脳の形を見る検査では判らない異常を見つけられる場合があります。

ドパミントランスポーターシンチでは、パーキンソン病やレビー小体型認知症での脳内の変化(ドパミン神経の減少)が確認できます。

またアルツハイマー型認知症との区別がつけやすくなります。



●MRI検査の注意事項について

MRIは大変強い磁場を使用した検査になります。体内金属等条件によっては検査が行えない場合もありますので、担当の医師にご相談下さい。

医療機関からの画像検査の依頼をお受けしております

画像検査の申込み・お問合せは、

地域医療連携室(043-264-3116)まで

重心病棟イベント 病院deあかり展

療育指導室

主任保育士 小野澤 源



平成27年8月1日より3日間、療育訓練室におきまして「病院deあかり展」が開催されました。この展覧会は照明アーティスト橋田裕司さんや橋田さんが主催する手作り明かり教室「照明塾」のご協力の下、今年で3回目の開催となる当院恒例の展覧会です。

会場には和紙や針金、フェルト等のできた手作りの明かりが100点以上展示され、そこが病院である事を忘れてしまうような心温まる空間ができました。今年度は地域ボランティアの皆さん、そして当院職員が作製した作品がメイン展示となり会場を盛り上げました。また会場設営も今年度は療育指導室スタッフが中心となり実施し、車椅子の方でも展覧会を楽しみやすいよう、作品を目線に合わせて展示したり、通路を広めに設定するなど、どなたでも楽しんで頂ける工夫もさせていただきました。



昨年、一昨年と続けてご来場頂いた方も大変多く、「毎年楽しみにして

います」「来年も実施してほしい」という嬉しいお言葉も頂きました。

この展覧会は入院患者さんだけでなく地域の皆様にもご来場頂ける様、一般開放日も設定しており、期間中のべ520名という大勢のお客様に来て頂きとても賑やかな展覧会となりました。

次回開催される際はぜひ皆様もご来場頂き、明かりの作り出す幻想的な空間をご体験されてみてはいかがでしょうか？



千葉東病院の腎代替療法選択外来について

糖尿病看護認定看護師 名和 晃司

腎臓の機能が低下して尿毒症にまで至ると、そのままでは生きていくことが困難になります。自分の腎臓の代わりに腎臓の働きを肩代わりする治療を腎代替療法といい、血液透析、腹膜透析、腎移植の三つを指します。当院では腎代替療法のすべてを行っておりますので、病状やライフスタイルなどについてご相談しながら、十分な情報を提供した上で治療方法を選択していただきます。この治療方法選択のためのお手伝いをする専門外来です。

【腹膜透析外来】

腹膜透析外来は、自宅で腹膜透析を行っている方が受診します。腹膜透析は患者様自身が自宅で治療を行う透析方法です。医師が診察し患者様と共に治療内容を決定します。看護師は、腹膜透析を行うチューブの状態を確認したり、自宅での治療で困っていることの相談に応じています。

●腹膜透析外来の患者数が増加

腹膜透析外来は血液浄化センター内で行っています。腹膜透析を行っている患者数は全国的には減少の傾向にありますが、当院の腹膜透析外来の件数は毎年増加の傾向にあります。自宅で行う腹膜透析は、物品の準備、患者さんへの手順・病態・観察の指導、透析器械業者との連携と整備しなくてはならない事がたくさんあります。患者さん自身が行う手順が思っていたより大変で、途中で離脱してしまう患者さんもいます。当院の腹膜透析患者数が増加している状況はスタッフが患者さんとの関わりに時間をかけて丁寧に行っているからではないかと考えています。

看護スタッフは院内外での学習会により、急な患者さんからの電話相談や緊急外来に全員が対応できるようにトレーニングをしています。

【療法選択外来】

療法選択外来では、腎機能低下が予測される患者様に対し、今後の治療方法について情報提供を行っています。治療法は、血液透析、腹膜透析、腎移植の3つがあります。患者様の希望や医学的背景を考慮し、患者様の意思決定支援を行う外来です。

●療法選択外来の充実

慢性腎臓病患者さんにとっての治療の3本柱である血液透析、腹膜透析、腎移植について紹介し、個々の患者さんにとって最もよい治療方法を選択していただけるよう、看護師が主体となって行う外来です。看護師は患者さんご自身の生活スタイル、価値観、倫理観にそって、最善の治療を選択できるように患者さん1人ひとりに対し1時間程度時間をかけて説明を行っています。

当院は、全ての治療方法を提供できる病院ですので、偏ることなくすべての治療の情報を提供することができます。移植については、移植コーディネーターと連携を行い、患者さんの依頼があれば、外来で情報を提供しています。

あらかじめ、療法選択外来を受診していてよかったという患者さんからの声もよく聞かれるようになり、看護師はやりがいを感じて働いています。



腹膜透析外来の様子



療法選択外来の様子



外来で使用するグッズ

病院各科紹介 神経内科

診療部長 吉山 容正

神経内科という科は、以前に比べるとずいぶん診療科としての存在が知られてきましたが、いまだにどのような「科」なのかわからないという方も多いと思います。

たとえば「消化器科」が胃や腸などの「消化器」をあつかうかと同様、「神経内科」は「神経」をあつかう「科」です。ここでいう神経は脳や脊髄、末梢神経などをさします。ですから精神や心の病気や症状をあつかう「科」である「精神科」や「心療内科」とは異なります。神経の外科的な病気をあつかう脳外科に対する脳内科と考えていただくとわかりやすいかもしれません。

当院の神経内科は神経疾患の中でも神経難病といわれる原因がいまだにはっきりしない疾患をおもに診療させていただいており、千葉地区の難病支援センターに指定されています。神経難病とは原因が不明で根本的治療が見つかっていない病気の総称で、その中には筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などがふくまれます。

このような難病疾患を中心に診療しているため、脳卒中などの一般的な神経疾患の治療は近隣の病院にお願いしています。現在、当院院長を含め、5人の神経内科医が診療にあつたており、当院に設置されているMRIやSPECTなどの大型医療機器も用いながらできる限り正確な診断、有効な治療、ケアの支援を行っております。

○●イベント予定●○

●糖尿病週間イベント

「行楽の秋！お出かけ前のお弁当チェック」

- 開催日 平成27年11月7日（土）
午後1時30分から（約2時間）
- 内容 フードモデルを用いて食事内容を考える
- 場所 当院大会議室
- 対象 糖尿病の患者様（先着40名様）
※参加ご希望の方はチケットが必要となりますので、
当院の地域医療連携室（直通電話043-264-3116）
までご連絡ください。

●日本医療マネジメント学会

第15回千葉支部学術集会

- 開催日 平成28年2月27日（土）
午後1時00分から午後5時30分
- 内容 医療機関の地域医療及び在宅療養支援等について講演
- 場所 淑徳大学 看護栄養学部（第2キャンパス）
2号館講義室
- 対象 医療従事者を対象
- 参加費 会員1,000円 非会員1,500円

●症例検討会

- 開催日 平成27年12月3日（木）
午後6時30分～午後8時00分
- 内容 アレルギー科医師より症例等について講演
- 場所 当院大会議室
- 対象 医療従事者を対象
- 参加費 無料



●腎臓にやさしい減塩料理教室

- 開催日 平成28年3月19日（土）
午前10時00分から午後2時00分
- 内容 腎臓病の方を対象にした減塩食の調理指導、
医師による講義
- 場所 淑徳大学 看護栄養学部（第2キャンパス）
栄養学科 調理実習室（1階）
- 対象 腎臓病の方とその家族（計16名様）
- 参加費 500円

季節の健康レシピ



ペペロンチーノ風★きんぴら

千葉東病院 栄養管理室

～材料（4人分）～

ごぼう……………1本（160g）
 人参……………1本（120g）
 にんにく……………1かけ
 オリーブ油……………大さじ1（13g）
 酒……………大さじ2
 みりん……………小さじ1
 塩……………小さじ1/4（1.5g）
 こしょう……………少々
 たかのつめ……………お好みで



～作り方～

- ①人参とごぼうは千切り、にんにくは薄切り、たかのつめは小口切りにする。
- ②フライパンにオリーブ油とにんにくを入れて弱火で炒める。
- ③にんにくがきつね色になったら油から取り出し、ごぼうと人参を炒める。
- ④③に酒とみりんを入れて、中火で炒める。
- ⑤汁気がなくなったら、塩、こしょう、たかのつめ、③で取り出したにんにくを入れて味付けし、完成。

1人分の栄養価
 エネルギー 82kcal
 たんぱく質 1.1g
 食塩 0.4g

～アレンジ～

ごぼうの代わりにキャベツやきのこ、ブロッコリーで作ってもおいしいですよ。



☆カリウム制限の方へ☆

ごぼうと人参は水にさらし、一度茹でこぼしてから調理するとカリウムを減少させることができます。切り方は、細かいほどカリウムが溶出しやすくなります。

☆塩分制限の方へ☆

醤油と砂糖で味付けする一般的なきんぴらごぼうの塩分量は約0.9gですが、ペペロンチーノ風きんぴらにすると、約0.5gの塩分を減らすことができます。（香味野菜であるにんにくを使って減塩♪）

♪栄養ひとくちメモ♪

～ごぼうの保存方法～

根菜は長期保存が効くイメージですが、ごぼうは鮮度や香りが落ちやすいので、使う分だけ買うのがポイントです。土付きの場合は、そのまま新聞紙に包んで風通しの良い涼しいところで保存しましょう。洗ってあるごぼうは、ポリ袋などに密閉して、冷蔵庫の野菜室で保存しましょう。



難病相談・支援センターより 講演会のお知らせ

平成28年1月16日(土)

14:00～16:00

ハーモニープラザ3階 イベントホール
千葉市中央区千葉寺町1208-2

講師: 石木 幹人 先生

陸前高田市地域包括ケアコーディネータ
(県立高田病院 前院長)

入場無料
先着200名様

難病相談・支援センターでは、今年度の講演会に石木幹人先生を講師にお招きすることになりました。先生は、東日本大震災時、壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市の県立高田病院の病院長をされていました。病院最上階の4階まで津波による浸水にあい、患者さんや職員と共に屋上で一晩を過ごされ、翌日にヘリコプターで救助されるという体験をされています。震災後は避難所生活となりながらも救護活動を再開され、市民生活が壊滅的な打撃を受けた中で、医療介護の復旧にあたられており、その時の経験等についてお話していただく予定です。今後起こりうる非常時に備えて、私達が今からすべきことをご教授いただける場となることと思いますので、お誘いのうえご参加ください。

詳細につきましては、後日インターネット等でお知らせいたします。

難病相談・支援センター活動報告

難病医療センター
難病医療支援係長 平井 雅美

去る9月5日(土)13:30～当院大会議室にて千葉地域難病相談・支援センター主催 地域支援者交流会が行われました。

地域からは在宅訪問診療を専門としたクリニック、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、保健所の参加がありました。医師、作業療法士、MSW(医療ソーシャルワーカー)、訪問看護師、ケアマネージャー、社会福祉士、保健師等多岐にわたる職種の方々20名の参加でした。当院からは、病棟看護師、臨床心理士、MSW、看護師長が参加をし、グループワークに加わり地域の方々と一緒に作業を行いました。グループワークでは、情報シートの作成を行い、地域が必要としている情報と病院が必要としている情報が網羅されたものにするにはどのようにしたらいいか、ワークを行いました。顔の見える位置で作業を行うことにより、役割の違う者同士、お互いの立場や考え方を少しは理解ができたと思います。

今後も、地域の方々とは病院が協力をして難病患者さんの支えになれるよう活動を続けていきたいと思っています。



診療科目		月	火	水	木	金		
内科	糖尿病・内分泌	西村 元伸	西村 元伸 祖山 暁子	関 直人	西村 元伸 花岡 美貴	/		
	腎	今澤 俊之	首村 守俊 今澤 俊之 ※1	今澤 俊之 川口 武彦 ※1	/		川口 武彦 山川 貴史	
	消化器科※1・2	/					/	太和田 暁之
	循環器科※1・2	北原 秀喜	/		神田 真人		中里 毅	齋藤 佑一
	アレルギー科 (リウマチ・膠原病)	松村 竜太郎 前澤 裕子	中澤 卓也	大矢 佳寛	松村 竜太郎 二見 秀一		松村 竜太郎 中澤 卓也	
神経内科 (新患は完全予約制)		新井 公人 小出 瑞穂	新井 公人 伊藤 喜美子 特殊外来(治験)	特殊外来(治験)	特殊外来(治験)	吉山 容正 磯瀬 沙希里		
呼吸器科	一般外来(初診)	/		新患担当医	新患担当医	新患担当医	/	
	一般外来(再診)	野口 直子	石川 哲	永吉 優	水野 里子	山岸 文雄※1・2 (第1, 3週)		
	結核外来(初診)	/		※5	※5	/		
	結核外来(再診)	/		水野 里子 永吉 優	石川 哲 野口 直子	/		
小児科		松村 千恵子 金本 勝義 佐々木 裕之 小林 雅代 升田 真依	※3	※3	松村 千恵子 金本 勝義 佐々木 裕之 小林 雅代 升田 真依 倉山 英昭	※3		
外科	初診	松本 育子	丸山 通広	(手術日) ※3	西郷 健一	青山 博道		
	再診	西郷 健一 坏 尚武	長谷川 正行 大月 和宣 ※6 青山 博道		坏 尚武 松本 育子	丸山 通広 長谷川 正行 大月 和宣		
整形外科 リハビリテーション科		勝見 明 田原 正道	(手術日)	/		勝見 明 後藤 憲一郎	田原 正道 後藤 憲一郎	
泌尿器科		香村 衡一	※3	/		香村 衡一	/	
眼科		今井 直樹	(手術日)	今井 直樹	今井 直樹	今井 直樹		
形成外科		千明 信一	※3	千明 信一	(手術日)※3	※3		
放射線科 (予約のみ)	診断外来	池平 博夫	池平 博夫	池平 博夫	池平 博夫	池平 博夫		
	治療外来	※4	※4	川上 浩幸	※4	※4		
菌科 (入院患者様のみ)		大塚 義頭 渋谷 泰子	大塚 義頭 渋谷 泰子	大塚 義頭 渋谷 泰子	午前: 摂食機能外来 (新患) 午後: 摂食機能外来 (病棟・再診)	摂食機能外来 (再診)		

診療受付時間(初診・予約外)・・・月曜日～金曜日 午前8:30～午前11:00

予約変更専用電話番号 043-264-3593 受付時間 午前9:00～午後4:00

※1 予約制で午後からの受付となっています。

※2 新規の患者様は受付けておりません。再診患者様については予約制となっています。

※3 あらかじめ、電話にてご確認の上来院ください。(診察ができない場合もあります。)

お問い合わせは 月～金曜日(平日)午前8:30～午後4:00の間をお願いします。

※4 電話でのご相談には応じます。詳しくは、月～金曜日(平日)午前8:30～午後4:00の間にお問い合わせください。

※5 紹介状をお持ちの方のみの受付となっています。

※6 禁煙外来(完全予約制・移植予定または移植手術後の方を対象としております)